

樹楽団らんの家 門真東

第1回運営推進会議

平成28年5月9日(月)14時～

本日の流れ

- ①施設紹介
- ②利用状況
- ③長期利用状況について
- ④事故報告
- ⑤施設内の会議について
- ⑥活動状況
- ⑦施設内の今後の改善策

施設紹介

年中無休/24時間営業

当施設は、年中無休24時間営業の地域密着型通所介護施設です。

アットホームなデイサービス

一般の住宅を改装しアットホームな雰囲気を持ったデイサービスです。

手厚い介護

定員10名で日中スタッフは4名体制、お一人おひとりのご利用者様に合わせた対応を致します。

柔軟なタイムスケジュール

短い時間でのご利用や延長サービスを利用し、ゆっくりと過ごすこともできます。

フットワークの軽さ

ドアツードアの最短時間でご利用者様にご負担のないよう配慮しております。

※お泊り有のデイサービス （お泊りの際の定員は5名となっております。）

地域密着型通所介護に移行後も『樹楽 団らんの家 門真東』は変わらないこだわりで運営致します。

利用状況

	H27年11月	H27年12月	H28年1月	H28年2月	H28年3月	H28年4月
要支援1	0	0	0	0	0	0
要支援2	2	2	2	2	2	2
要介護1	1	2	2	3	5	4
要介護2	4	3	5	6	5	7
要介護3	3	4	5	5	3	2
要介護4	2	5	4	4	3	2
要介護5	2	2	2	2	1	1
平均年齢	83.4	86.8	83.3	80	82.2	83

長期 お泊り利用の状況について

現在、長期のお泊りのご利用者様は、日常生活全般にわたり常時介助を必要とされている方です。

・Aさん

奥様が仕事で長時間ご不在となり、ご本人様が在宅の間に徘徊や火の管理が心配な為、在宅が難しい状況です。慣れないお泊りのご利用で、当初は帰宅願望がとても強くご本人もストレスを抱えられている様に見受けられました。当施設としては、ご本人様の為にも1週間に1回のご帰宅を提案致しましたが、奥様自身の体調があまり優れずリハビリを行っております。奥様の考えでは、リハビリを頑張って万全に回復した状況でご主人を迎えたいとのこと。その為、当施設でのお泊りのご利用を希望されております。

・Bさん

認知症と診断されその後、右大腿骨折により入院。右人工骨頭置換術を行い、退院後は当施設のお泊りを利用される。手すりに掴れば立位が可能だが、介助が必要。再骨折などに注意し出来る限り身体機能レベルの維持することに。日頃より、食事中的ムセや痰でのムセも見られ、水分はトロミ・副食は極キザミ・主食はお粥で対応。起床後、水分の摂取と食事前は、口腔体操を必ず行う等の最新の注意を払っております。現在は体調も安定しており、認知症の進行を防止の為にも、スタッフとの積極的な会話やレクリエーションの参加により穏やかに生活できる環境で過ごして頂いております。

事故の状況①

事故の件数

4月…2件 2月…1件 1月…2件

状況報告

- ・ Sさん

夜間帯に、何度もベットの柵に掴まり起きようとされていたが、勢い余って柵に顎の右側をぶつけられる。バイタルの異常はなし。ぶつかった際は、特に腫れや変色は見られなかったものの、起床後は少し赤味が見られ内出血している様に見えた為アイシングを行う。事故の前、何度も柵に掴まり身体を起こそうとされていた。今後の対応としては、夜間帯に覚醒された場合は車椅子に座って頂き、再度入眠されるのを確認してからベットへ移動することに。

- ・ Yさん

早朝、新聞を取りに行こうとして外に出ておられ、ドアの音に気付いたスタッフが様子を見て室内に戻そうとする際に玄関の入口のマットに躓き、転倒される。右膝を擦りむいていた様で、ご本人様は大した事は無いと仰っていたが消毒等の処置をする。度々、スリッパで躓くことがあったので今後は室内外問わず、靴を履いて頂くことに。

緊急時の対応方法について

事故・急変時の対応

- ・サービス提供中の急変や事故の際、的確な処置を行えるよう
看護師等による24時間対応の電話サポートを受けられる体制もあります。
- ・サービス提供中に病状の急変等があった際、速やかに利用者様の係りつけの病院への連絡
その後に救急隊、緊急時連絡先（ご家族等）、居宅介護支援事業者等へ連絡出来るような体制を取っております。
- ・定期的に所轄消防署と連携し、避難訓練、防災訓練の実施を致します。
- ・救命の処置（AEDの使用・心肺蘇生法）を行えるよう、スタッフミーティングにて実践しスタッフの情報を共有を致します。

施設内の会議について

○スタッフミーティング(4月25日)

- ・各利用者様のADLの変化を各スタッフより報告
- ・生活リハビリの内容について

各スタッフへ個々の生活リハビリ実施内容を記入して頂き、会議の議題としております。

様々な案が出ましたが、内容が絞れておらず、機能訓練指導員・相談員・管理者でまとめた上で内容を決定致します。

(評価案)

- ・レクリエーションについて

前回の会議にて、レクリエーションの計画立案がされていないとのことだったが

日を通してレクリエーションを実施しているか？ → 日毎にレクリエーションの実施

レクリエーションの実施は記録に残しているか？ → 記録に必ず残すように指導

- ・チラシについて

写真をメインにしたチラシを作成し、利用者さんがイベントに参加している姿が見えるようにアピールできないか？

チラシを作成し、ご家族様や介護支援専門員の方への配布を実施致しました。

- ・フロアについて

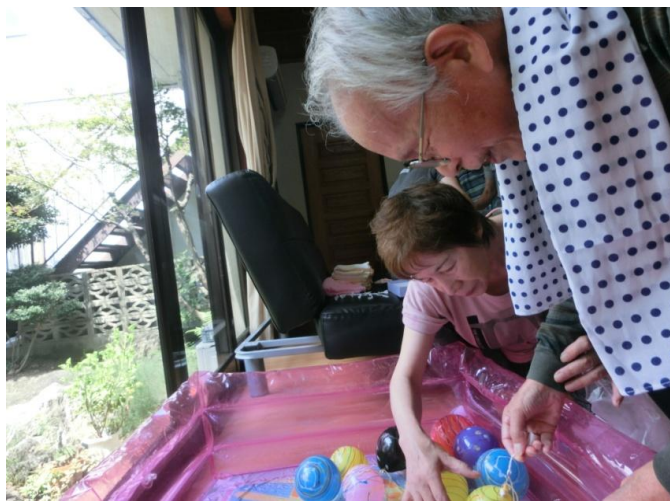
気温、湿度が高い為、夏に向けて熱中症の対策を行う事。

空気を循環させる為に、扇風機の設置を行うこと、→ 扇風機の購入済

レクリエーション



施設内行事



外出レクリエーション



ボランティア



今後の方針

○地域密着型サービスを今後どう展開すべきか？大きな課題。

地域交流の幅を広げる為に、地域のお祭りや行事にご利用者様と一緒に参加し、少しずつ地域住民の方々との交流を深めていきたい。

○当施設を知ってもらう為に、どう広報活動を行っていくか？

（回覧板等の広報物にて当施設の紹介をさせて頂ければ・・・）

○事故ゼロを目指すこと

尻もちをついただけでも事故。という認識を持ち、再度安全面への配慮の徹底化